



—広報—

いとまん

—ひかりとみどりといのりのまち—



ドリーム・ベースボール (記事は15ページ)

平成18年

1

月号

No.485

◆今月の内容◆

- P 2～3 年頭のごあいさつ
- P 4～9 新春座談会
- P 10～11 叙勲受章者紹介、今月の人・人・人、オホーツクの風
- P 12～13 トピックスいとまん
- P 14～15 スポーツいとまん
- P 16～17 糸満市の決算状況
- P 18～23 お知らせ広場、市民カレンダー

年頭のごあいさつ



系満市長
西平賀雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに平成十八年の新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

市民の皆様には、平素より市政各般にわたり格別なる御支援、御協力を賜り、衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は市民の皆様をはじめ、議会並びに各方面からの力強い御支援のもと市長として初めて予算を編成し執行した年でありました。昨年一年を通じて多くの市民とお会いし、また触れ合う中において市政に対する熱い期待と切実なる思いをひしひしと感じ、改めて責

務の重大さを痛感した次第であります。

さて、昨年を振り返ってみますと、国内需要の伸びや景気回復の影響を受けて、大幅な国税の増収、各企業における求人増加など、我が国にとって明るい材料の多い年であったと思います。

そのような中、本市においては、「ひかりのまち みどりのまち いのりのまち」を基本理念に「海幸・陸幸の史都 系満市」の実現をめざして、各種事業の展開を図って参りました。

しかしながら、近年、国の行財政改革の推進に伴い、地方自治体は厳しい財政運営を断行しなければならず、市民生活にも大きく影響を及ぼす状況にあります。

そのような背景において、私は限られた予算内で最大限市民に還元できる事業の推進に積極的に取り組み参りました。

平成十八年においても、引き続き地域の活性化と市民生活の向上を機すため各種事業に迅速に対応

して参ります。また、次年度以降も厳しい財政運営が予想されることから、さらなる行財政改革に取り組みながら、行政のスリム化と効率的な市政運営に努めます。

本格化する地方分権の中で、これからの地方自治体は、自ら考えながら市民協働による特色ある街づくりと効率的行政運営が必要であると考えており、そのために私は、自ら市民の先頭に立ち「系満らしさ」を追求した「まちづくり」に励んで参ります。

本年は、市制施行三十五周年を迎える節目の年であります。これを契機に系満市のさらなる発展と市民生活の向上に全力を傾注するとともに、輝ける二〇〇六年が皆様にとりまして、幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

平成十八年吉日

系満市長 西平賀雄

迎春

平成17年に取り組んだ事業

●教育行政

糸満小学校校舎全面改築事業、喜屋武小学校校舎増改築事業、県内で初となる基礎学力向上のための補助教諭の配置、英語指導教諭の配置

●青少年の健全育成

プロ野球名球会、OB会を招いて「宝くじドリームベースボール」の開催

●福祉行政

小規模作業所補助金の他市並補助の実現

●平和行政

戦後60周年記念事業として平和コンサート、平和美術展、原爆展の開催

●男女共同参画社会の推進

糸満市を元気にするフォーラムの開催

●商業の振興

サンエーショッピングセンターの誘致とそれに伴う雇用の創出

●観光の振興

糸満観光農園グランドオープン

●行政改革の推進

庁舎内レストランの貸付有料化、特別職の報酬縮減、水道局長の廃止、退職者の不補充、管理職手当の削減、各種補助金負担金の見直し、各種事務事業の適性化

平成18年に取り組む主な事業

◎旧ダイエー跡の再活性化

◎温泉、天然ガス開発の促進

◎潮崎町におけるゲートボール場10面の整備

◎糸満ふれあいビーチおよびフィッシャリーナの整備促進

◎潮崎町住宅用地の早期分譲

◎地下ダムを利用した農業振興の推進

◎教育行政、青少年健全育成の推進など

新春座談会2006

県外出身者からみる 糸満市

今年の新春座談会は、最近移住した
県外出身者の方、また長年本市で暮ら
している県外出身者の方をお招きして、
県外との違いや他では見ることのでき
ない糸満市の魅力などを語っていただ
きました。



糸満市長 西平賀雄

西平市長

お越しいただきありがとうございます。
今回は県外出身で現在はここ糸満市に
お住まいになっていらっしゃる方々から
お話が聞けたら非常にありがたいと思
っていますので今日はひとつよろしくお
願い致します。

糸満市の魅力とは？

ゴードン

糸満市のいいところは、主人が大阪に
毎週通つてますので空港に行くのにすこ
く便利だということ、それと住んでいる
場所が静かで私達が望んでいた、スロー
ライフの一番原点にあるようなところと
いうことです。

私はアメリカに34年間暮らしていて、
日本の本を読む習慣がすっかりなくなつ
てしまったので、これからボケがきて日
本の習慣を忘れたら大変だと思い、中央
図書館に行って本を夢中で読んでいます。
私達がアメリカで一番望んでいた自然
の中であまり派手でなくて、プライベ
ートで地味に末永く生活するっていう事
に関して、糸満市の今の地がすごく私達に
合っていると思っています。

佐藤

私も自然が多いのと公園が多いという
印象を住んで思いました。東京の方だと
か、横浜でも繁華街になるとまず公園は



ないんですよ。子供が遊ぶ場所がまず無くて…。今まではそういうのをまったく意識してなかったのが、こっちに來て気付かされて、それはすごく魅力的だと思います。

あと、何でも自分たちでモノを作ることですね。お店の内装とかも本土であれば「絶対に業者に頼む」ようなことも全部手作りというのが本当にびっくりしました。

他には、沖縄の人たちが全員そうなのかよく分かりませんが、人と人とのつながりが強いことですね。横のつながりもすごく強くて、誰かの名前を出すとみんな知っていて、最初はびっくりでしたが、だからこそ安心して自分が住むことができ、また困った時にいろんな人が助けてくれるので、そこはすごく魅力的だと私は思います。

市長

確かに本市の良さというのは都心に近しいし、空港にも近いことですね。本市は那覇市のベッドタウン的な位置にある訳なんですけども、空港に近いというのがこれからの本市の発展に有望だと考えています。

平成21、22年ぐらいには、現在工事中の国道331号線バイパスが全面開通という事になりますので、ゴードンさんの家からでも空港は10分ほどで行くことができます。

大木

私が感じるのはまず公園が多い。うちはワンちゃんの散歩でも非常に助かっていますね。それから内地の場合はみんながお互いを知るわけじゃないけど、ここでは近くの人が知っていますよね、知っているって事が怖くて悪口の対象になるんですね。だから自分の事を「気をつけなきゃ」と思って、常に周りの事を気にしていないといけないって事があります。

藤田

僕は、以前は宜野湾で仕事をしていました。那覇市や宜野湾市の方々からは「糸満住んだら大変でしょう」と言われるんですよ。その理由としては、綱引きであり、ハーレーであり、いろんな旧暦行事がとても多いということですね。その度に仕事を早く帰ったり、休んだりしていました。

ですが逆に考えると、本当に伝統とか旧暦を本当に大切にしているのはもう糸満市だけではないかと思えますね。なので那覇市、宜野湾市の方も認めていました。それととても人情味があるという事が魅力ですね。

あと、僕はホテル関係なんで観光客を呼びたいんですが、旧暦行事の中では少し閉鎖的な部分もあるんです。しかし、逆にそれが伝統行事を本当に大切にしているんだという、裏を返せばそれが魅力の一つだと感じています。

昨年の目標は沖縄に住むこと！ 今年は 三線を習います



佐藤 青衣

横浜市出身。沖縄の伝統・文化に憧れ、昨年7月移住。現在、アルバイトをしながら、沖縄の生活を満喫中。

組織同士の ネットワーク作り

大木

特別に糸満だからというわけでもないのですが、いろんな組織がネットワーク化をしてお互いに助け合う、こういうシステムが必要なんじゃないかなというところで「糸満組織ネットワーク」という呼び方で「まちづくり市民ネットワーク」を作っていきたいと思っています。この組織自体、糸満だけでなく、ほとんどの場合が尻すぼみで終わっているのですが、これができるいろいろなグループが、やりたいというものを支援できるんですね。つまり、新しいプロジェクトができるのも支援ができる。

行政がイベントをやるという時でも、それについて連絡だけではなく、そういう人達を引っ張ってくる。例えば、お年寄りであれば、足がない、足が弱い、そういう人達を車で乗せて連れて来る。それがこのネットワークの具体的な動きです。そういう風なツール、メカニズムが出来たらと思います。いろんな違ったプロジェクトや思いがみなさんあると思いますが、それをすべてそのネットワークに乗せてサポートすれば、立ち上がりも早いし、具体的に市民のいろんなグループを引っ張って参加する形になるのではないかと思います。なので私は「糸満組織ネットワーク」が一番自分にとってはやりたい事だし、糸満市にも役に立つん

若い人たちの パワーを生かす

ゴードン

私はおばあちゃん、おじいちゃんのパワーを見ていてすばらしいと思う反面、若いエネルギーは一体どこへ行っているのだろうかと…。

その若いパワーをどういうふうにしたらいいかというのは、私が二十八歳の時に日本を去り、アメリカ合衆国に行った理由と似ているのかと思います。

当時の私は「伝統にがんじがらめになりたくない」という反発を持っていました。



座談会のようす（一番右は司会の金城義朗総務部長）

糸満市は那覇市と 同じぐらい知られている

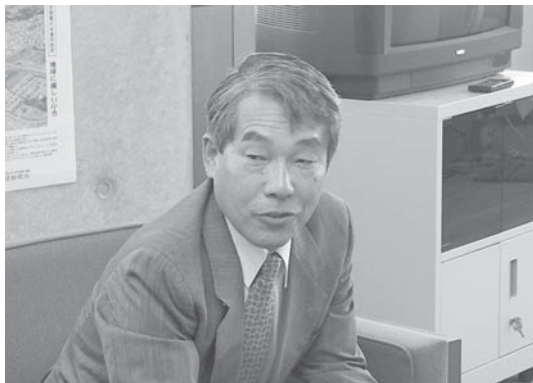
佐藤

私も横浜にいる時は、横浜の歴史とか文化とかまったく興味なくて、はつきり言って知らないんです。授業で教わった気はするのですが、やっぱり自分がそういうのを聞く気が無かったせいか全然覚えてない。

ただどこに来てその沖縄の文化に対して、私はすごく好きで、「風之舞」エイサーの見る機会が多くて、初めて見たときはすごく感動しました。するとエイサーをやっている人達は結構若い人とかが多いので、その人たちの中には伝統や文化を大切にしようとか、広めたいと思

た。テキストデザイナーになりたいのだったら「西洋を学びたい」という意識で日本を飛び出した人間ですの。

今は、文化・伝統などはすばらしいと感じています。その反面、異文化というものをここに混ぜるともつと良い集まりができる、それは糸満市にとってこれからすごく必要なんじゃないかと思うんですね。私はみなさに異文化というものを理解してもらいたい。そしてそれを理解した上でみんなと仲良くやってほしい。糸満市には、これからそういう異文化を理解する若者が増えて、もつとこのまちはエネルギーが出てくるのではないでしようか。



大木 勝昭

岡山県高梁出身。仕事で長年浦添市に勤務。退職後、本市に移り住み、「慰霊と平和と植樹」糸満プロジェクトや市民勉強会などさまざまな活動を展開中

市内のいろいろな方々と協力して ネットワーク共同体を作りたい

っている。だけど、そういうことに興味がない人もいるのも事実だと思います。本当は自分と同年代の人が、それに興味を持って欲しいというとは思いはありますが、それは個人の思いであって、その人の気持ちはわからないですね。

あと、糸満市は全国規模で考えても沖縄の中で、那覇市と同じぐらい知名度が高いと思うんですね、けど糸満市に旅行によく来るかっていったら、それほど来ない。確かに「ひめゆりの塔」にも行ったし、「琉球ガラス村」にも行きましたけど、そこに行つて終わりでした。観光客は観光雑誌とかで調べ、何かを食べに行くとか飲みに行くにしても、結局はホテルの近くで選んで遊ぶというのが多いですね。そう考えるともし観光客を呼ぶなら、糸満市に泊まってもらわないといけないと思います。

そうしないと、ちよつと下世話な話ですけど、外からのお金が落ちてこないと思うんですね。例えば、藤田さんがホテルをどんどんナイチャー人にアピールしていくでもいいし、大きい宿泊施設を造るでもいいと思う。

けど、あまり自然は壊して欲しくないという思いもあるので、今あるイベントなど、綱引きやサーフィン大会など全国の人が来やすい環境を作れたら、もっといろんな人が糸満市に来て、その時にこのまちのよさを知ってもらったり、移住したいと思う人もいるかもしれないと思います。

伝統行事と 観光はもっと活かせる

藤田

そうですね、PR不足もあるかと思いますが。観光関係のホームページから発信して徐々に広げていきたいと思っています。

今は糸満市のホームページにもお世話になっているのですが、これからはそれ以外のメディアにちよつと予算をかけて宣伝しないといけないかなと感じています。

僕は十四年住んで感じるのですが、伝統行事を少し地域で守ってしまっているところがあるんですね。これが観光になかなか結びつかない。そこで一つは観光と伝統行事を発展させる為には積極的にまず西崎やその市外の方々も取り込むような体制にしないといけないのではないかなと思います。

それと地域行事なので記憶に頼りきっていることが多く、行事進行で戸惑っていることが多く、費やしていることもあります。そこで伝統行事もしっかりとした資料、ビデオに撮るなどの資料作製も必要じゃないかなと思います。

ただ、那覇大綱引きみたいにあれだけ世界のギネスブックに載るような綱引きの長さだとか、行事をちよつと無視したような感じはちよつと困るのですけど。糸満のハーレーや綱引きなど、そういったものは、しっかりと伝統を守ってほしい。どこからどこまでは「観光客を入れ

る」、どこからどこまでは「入れない」といったしっかりとした線を作りながら伝統行事を守りながら観光客も入れていくという方向が一番いいのではないのでしょうか。

また、これだけ月々の行事があれば、これも観光に活かすことができると思います。

市長

本当にいろんな角度からご提言いただいた訳なのですが、ゴードンさんの異文化の話なんですけど、私も絵を描いています。私は大きな展示会で出す作品というのは抽象画にします。そのときには伝統の色を生かしながら、逆にその先を見ていくような絵を描きたいというのがずっとあります。これまでに過去描いてきた絵は、これまでの沖縄の色を画家が描いていない画風でいつも挑戦しています。そういうこともあり、私は常に異文化を入れたいという思いを持っています。

それで今、中学校でも卒業するまでに、会話のできる英語をマスターさせようという考えを持っています。沖縄は世界のウチナンチュ大会もやっているぐらいですので、世界の方々と交流する機会というのはいくらでも広がっていくだろうと思います。

若い人達にやはり異文化をどんどん入れていくことが必要じゃないかなと考えています。このことに関しては、市長を続けている間、どんどん進めていきたい

イラク戦争がきっかけで 平和の地 糸満市に住むことに決めました



ヨシコ・ゴードン

テキスタイルデザイナー。アメリカ合衆国ジョージア州から夫、愛猫ともに昨年1月に移住。落ち着いたら個展を開く予定。

と思っています。

また、佐藤さんの方から若者の話もありまし。たしかにホテルが無いために、本市はほとんど素通り観光でした。「これではいけない」ということで、昨年4月に機構改革を行い、部の名称を「経済観光部」として観光に力を入れていきます。

それと自然の話も出ていましたけれども、本市は風光明媚なところ結構あります。本市南部の国道331号線は、海岸線ではなく内陸を通っているものですが、海岸線の魅力というのがなかなか県外の人に伝わらないのもっとそのへんをPRしたいと思っています。

一方であまり開発はやってほしくないという佐藤さんの話もありました。実は、字糸満という地域は人口密度が沖縄県でも1番高いところでした。それでどうしても地域の人が宅地を求めることができないという事情があり、仕方なく旧市役所のあった地域の埋め立て、そして西崎町の埋め立て、潮崎町の埋め立てという形でまちを広げていった訳です。

しかし私が小さい頃は、すばらしい砂浜でしたので非常に残念だということもあります。なので本市はこれ以上埋め立てはしないという方向です。これからは自然を大事にしようと考えております。

もちろん、糸満市にはたくさん魅力があります。自然の魅力でもなし、伝統文化もそうです。字糸満だけでも白銀堂や幸地腹門中があります。そういうところ

ろもかつてはバスの観光ルートになっていましたが、今はバスが通ることができないぐらい狭い道なので観光ルートから外れてはいます。しかし、私は字糸満の魅力はまだいっぱい残っていますのでそれを今後どんどん進めていきたいという考えを持っています。

また、全国規模でも那覇市と糸満市はよく知られているというお話がありました。やはり「海人のまち」ということで、全国に知られていますので、それをもつと活かすまちづくりが必要だと考えています。

さらに大木さんの方から非常にすばらしいネットワークの話がありました。これはとても大事なことです。協働のまちづくりをしていくにもやはりそういう組織のネットワークというのが非常に大事だと思っています。糸満の人というのはですね。自らリーダーになって人を引っ張っていくというのがなかなか奥手です。どちらかというと県外の方が本市に移り住んで、その地域のいろんなボランティア活動をやっています。いろんな組織がありますから、そういう必要がある。だろうなと感じています。

最後に伝統文化、ハーレーの話ですが、旧暦を重んずる風習は特に字糸満の方では強いのでハーレー行事は「絶対、旧暦でしかやらない」という強い決意があります。一方ではもっと観光客を呼び込むためには「日曜日にやったらどうか」という話もあります。これがなかなかまと

まりません。ですから伝統や旧暦を重んずるのでもいいのですが、藤田さんがさっきお話しした、観光客を呼び込むため別の形も作っていく必要もあるのではないかと思います。

ハーレーは 絶対観光客を呼べる

藤田

僕は、ハーレーは旧暦でそのままやっていいと思うのですが、サブ二舟の艇数が限られているんですよ。進行から考えると待ち舟をもっと増やせば時間が短縮できると思います。今の職域ハーレーは、舟が戻ってきて、その舟から降りて、またそれ乗るから時間が掛かる。それで職域ハーレーは制限されていると思います。観光客なんか入る余地ないって言われているのですが、8艇用意して、4艇漕いでいる間に残りの4艇は残しておいて、次の順番の人に待機させておくと、そういうふうな形でやると時間も短縮できるので余った時間は観光客も乗れると。

大木

僕も地元のために旧暦は大事にしなければいけない、けど一週間前は全国大会にしてもいいと思うのです。僕はね、この間、初めて職域ハーレーで国際グループ2艇とインドネシアのグループの職域レースに出ました。とても楽しかったです。これはもう絶対に観光客は来ますね。会



糸満ムークとなり 糸満市は 第二の故郷です

藤田 学

山形県鶴岡市出身。「スポーツロッジ糸満」支配人。
市都市農山村漁村交流推進協議会会員や市観光市民ガイドなど糸満市の観光分野に力を注いでいる。

社の仲間、大学生の仲間、こういう方々が参加させる。ただし糸満市に来て練習するという絶対条件つける。そうすると一定期間糸満市に滞在していただくことができると思います。

ゴードン

若者に関してですが、アメリカでは、どの町にもカレッジタウンや音楽ホールがあります。

そしてそこに住んでいて、そこに住んでいた人たちの伝統を守ろうという人の中にボンと新しい文化、カレッジが出来たりすると、若者がもうアメリカから来て新しい文化が発生して、そして町が活気付くという。

そういうことで私がちよつと感じたのは、ダイエーですか、今空いているんですよ。例えば、そういうものが音楽ホールになるとか何かそういう文化・外国から呼んでもいいし、そういう場所ができたなら、やっぱりそこが活性化していくのではないかと思います。

そういう意味で芸術っぽいものを何か糸満市にできたら、そういうところから職が発生して若者の力が、エネルギーが出てくるっていうことじゃないかと思っていますね。

市長

そうですね。ダイエーの活用に対して、非常にいいご提案ありがとうございます、実はこのダイエーを早めに買い上げてで



観光客にも人気の糸満ハーレー

すね、今おつしやるようないろんなものをこの中に入れていこうという事を考えています。

市民の代表を含め、買い取った時のこのダイエーの跡地利用をどうするかという事は今出ていまして、今おつしやるような話もですね、委員の中から出てくるような感じもします、ただこのダイエーの場合ですね、今、ダイエーさんと不動産会社との係争裁判中がありまして、解決しないとなかなか本市が手を出せないところがあり、非常にやきもきしています。しかし何とか早目に解決して西崎の活性化を図っていききたいと考えています。

音楽についてですが、本市にはこの分

野に長けた人達も結構いますが、残念ながら本市には市民会館がありません。非常に財源が厳しいのですが建設用地を確保はしています。しかし現在は会館建設を凍結しています。

私としては財源が無ければ別の発想でということ、摩文仁あたりに国際平和会館、コンベンションセンターみたいな感じの建物を何とかできませんかという事をいろいろなところをお願いしているところです。観光農園の中ではこの間、トウバラマ大会もありましたけれども、本当に音楽に長けた人達もいっぱいいますし、そういう方々のために場所の提供をぜひやりたいなと考えております。

本日はいろんなご提言等いただきました。本当にこれからの糸満市づくりの為にいろんな参考になる点が多かったです。やはり一緒になってまちを作っていくというのが大事なんだというのを改めて感じました。来年は糸満市は市政が施行されて35周年になります。一つの節目の年でもありますので、また一段と飛躍をする年にしていきたいなと考えています。これからも皆さんのご協力よろしくお願い申し上げます。

今日は本当にありがとうございました。

全員

ありがとうございます。

受章おめでとうございます

第5回危険業務従事者叙勲 10/7付

瑞宝双光章
警察功労



にししまと えいじ
西島本 英二さん
74歳 糸満

西島本さんは波照間のご出身で、昭和三十一年に琉球警察に採用。糸満、那覇、石川、普天間、八重山、警察本部で勤務。要人の警護や、数々の刑事事件の解決に力を尽くされました。平成元年に警察学校の校長に就任、翌年退職。その後は前端区の自治会長を二期四年間務め、現在は老人クラブの一員として活動されています。「激動の時代の中で、県民の生命と財産を守るという大任を微力ながら果たすことができたのも市民の皆さまのおかげ。心から感謝申し上げます」

瑞宝双光章
警察功労



なかみね しんせい
仲嶺 眞盛さん
73歳 糸満

仲嶺さんは恩納村のご出身で、昭和二十九年に琉球警察に採用。糸満、普天間、与那原、警察本部等で勤務し、主に交通関係の仕事に尽力されました。平成元年に与那原警察署長に就任、同三年に退職。退職後は株式会社いよう共済の沖縄支店長を六年間務め、現在は鴻原隣人会の一員として青少年育成や防犯活動に取り組む毎日です。「名誉ある叙勲を受けて感無量です。多年にわたり警察業務に従事して、評価されたことが嬉しい。今後も微力ながら地域活動に力を尽くしていきたい」

瑞宝単光章
防衛功労



きしもと こういち
岸本 孝一さん
61歳 北波平

岸本さんは福岡県のご出身で、昭和三十七年に海上自衛隊に入隊し、広島や鹿児島、佐世保、勝連、那覇の基地に勤務。衛生員として隊員の健康管理等に従事、また機上救護員として航空救難業務、災害派遣等にも力を尽くされました。平成十年に退職され、現在は株式会社沖縄交通介護サービスで、訪問介護の仕事に活躍されています。「素晴らしい勲章をいただき、後輩たちも希望を持てると思う。これからも介護関係の人たちの手助けをしていきたいと考えています」

2005年秋の叙勲 11/3付

瑞宝小綬章
検察官功労



とうやま こうほ
當山 孝保さん
70歳 武富

當山さんは、昭和四十二年に那覇治安検察庁に入庁。横浜、名古屋、東京、福岡、水戸、大分等各地の検察庁に勤務し、平成八年に退職されました。退職後は公証人を六年間務め、現在は弁護士として活躍されています。「健康な身体を授けてくれて、大学教育まで受けさせてくれた両親、指導・支援してくれた上司・同僚、支えてくれた家族のおかげによるものと感謝しています。戦死した父に見せることができないのが残念ですが、生きていたら最高に喜んでくれたものと思います」

瑞宝双光章
警察功労



きくざと しん
喜久里 伸さん
72歳 小波蔵

喜久里さんは久米島のご出身で、昭和二十八年に琉球警察に採用。那覇、普天間、宮古、警察本部等で勤務し、長年にわたり主に鑑識の仕事に尽力されました。平成二年に糸満警察署長に就任、同四年に退職。退職後は波之上、第二波之上自動車学校の校長を歴任。現在は健康維持も兼ねた農作業を、お孫さんと一緒に楽しむ毎日です。「鑑識は厳しい仕事だったが、受章は私一人の評価ではなく、支えてくれた皆さんに分けてあげたい。これからも地域社会のために頑張っていきたい」

瑞宝単光章
防衛功労



かぜやま ただお
景山 忠雄さん
61歳 西崎

景山さんは島根県のご出身で、昭和三十八年に航空自衛隊に入隊。島根、岐阜での勤務を経て、昭和五十三年に与座岳分屯基地に配属。基地内の電気設備の補修や維持管理に従事、また若い隊員の教育指導等にも力を尽くされました。平成六年に那覇基地へ異動、同十年に退職。現在はエムワイ総合企画株式会社の車輛管理者として活躍されています。「現場でこつこつとやってきたことが報われたと思います。この叙勲が後輩の励みになれば幸い。今後も受章に恥じないように精進したい」

山城さんは市内で下水道関係の会社に勤めるかたわら、県内外で活躍する古武道太鼓集団「風之舞」の代表を務めます。

父親が古武道の師範だったことから、幼い頃からその影響を受けて育ちました。エイサー歴は18年、古武道歴は25年近く、世界大会や県民大会でも上位に入賞する実力の持ち主です。「自分自身が古武道や舞台での公演を通して成長してきた。今の子どもたちにも経験してほしい」との思いが「風之舞」の結成につながります。古武道と創作エイサーをミックスした本格的な演舞は公演のたびに高い評価を受け、平成9年の結成当初は7、8名だったメンバーも、現在は大人から子どもまで40名近くになります。週に3回の練習では「けがのないよう、安全に活動すること」「あいさつをきちんとし、周囲の人への感謝の心を忘れないように」と子どもたちを指導。「内気であまりしゃべれなかった子が、積極的にリーダーシップを取るようになる。自分への自信につながっていく様子が楽しい」とその成長を見守ります。

ここ数年、風之舞はハワイや韓国、台湾といった、海外での公演も増えてきました。「風之舞だけでなく他の子たちにもこの貴重な経験を共有させたい」と、平成17年10月にオフィス「沖縄の風」を設立。風之舞を中心とした芸能活動のほか、市内で伝統芸能を学ぶ子どもたちのプロデュース、伝統文化の継承と県外・海外への発信などに取り組んでいます。昨年末には市内のほかのエイサー団体と一緒に同じ曲を練習し、大勢での演舞に挑戦。2月には琉舞道場や三線クラブとの合同公演を予定しており、子ども会や学校でのエイサー指導、新しい祭の開催なども企画しています。資金面で課題は残るものの「協力してくれる人がたくさんいるので夢も広がる。そのつながりをつくりたい」と意欲を見せます。オフィスの応援団としてすでに市内の児童センターや商工会、観光協会などのメンバーが名を連ねますが「このオフィスが中心となって、糸満の各団体をネットワークでつなげたい」とさらに多くの団体に呼びかけていく予定です。「糸満のこどもたちを世界へ！」を合い言葉に、「人」（教育）、「まち」（経済・観光）、「祭」（青年団）が一体となったまちづくりを目指します。

「1人でも多くの子どもたちを、県外や海外の舞台に立たせてあげたい。舞台上に立ち、沖縄を、糸満をアピールすることで自分のまちに誇りを持てる。糸満にこだわる理由もそこです。自分の生まれたまちに目を向け、それをまた自分の子どもに伝える。そんな風にまちづくりにつなげていけたらと考えています」

山城 健さん（米須 34歳）



勇壮な演武と舞が風之舞の魅力

オフィス「沖縄の風」 ☎ 090-6863-3110

交流職員コラム
第8回（糸満編）

網走オホーツクの風 2005

網走市・糸満市派遣交流職員
高橋 健司



「平和の光」ボランティア作業の受付中
(送ってもらったスノーボードのウェアです)

あけましておめでとうございます、高橋健司です。季節もいつの間にか冬ですね。月日が経つのは早いものですね。周りのみんなからは「北海道に比べたら寒くないだろ？」と言われますが、僕は寒いんです。北海道にいるとき天気予報で沖縄の気温を見ていて、「こんなに暑いのか。冬も寒くないのだろうな～」とずっと思っており、4月にこちらに来るとき、「沖縄は常に暖かいから上着いらないよね～」と話していました。しかし、こちらの冬を迎えてみると風が強く想像と違いとても寒いです。また、北海道では冬の間は常に暖房を入れていたので、家の中は28℃くらいあったので、こちらの家の中も寒く感じます。

さて、新年を迎え気分一新、今年の抱負は何にしようかな…



「全国でもがんばるぞ！」
西崎中チーム
(左から藤本大輔さん、
新垣仁さん、照屋祥平さん)



九州大会の競技風景

ロボコン九州一！ 西崎中が全国へ

「第6回創造アイデアロボットコンテスト沖縄県中学生大会」が、11月19日に沖縄商工会議所で開かれ、西崎中学校がA-1部門優勝とロボコン大賞のダブル受賞、A-2部門で準優勝。三和中学校も2部門で敢闘賞を受賞し、市内の学校が大活躍しました。

入賞した2校は、12月4日に長崎県で開かれた「第7回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会」に出場。A-1部門で新垣仁さん（西崎中3年）のロボット「機動賢者ジーン」が九州の強豪を破り、見事優勝を果たしました。同校は、1月22、23日に茨城県で開かれる全国大会へ出場します。

キレイなお花のプレゼント

自分たちで育てた花を多くの人に見てもらおうと、西崎養護学校高等部が、マリーゴールドなどのプランターを市役所に贈りました。11月25日、同校で贈呈式が行われ、生徒を代表して大城睦さんが「大事に育ててキレイな花を咲かせてください」と述べました。寄贈された花々は、現在市役所の玄関と総合案内に設置されています。



西平市長に花鉢が
手渡されました

暴走行為はしない、見に行かない！



十二名の委員による
第一回協議会の様子

「糸満市暴走行為および暴走行為を助長する行為の防止に関する条例」が、昨年施行されたことにもない、「平成17年度糸満市暴走行為等防止協議会」が12月6日に市役所で開かれました。始めに委嘱状交付式が行われ、続く第1回の協議会では、会長、副会長の選出、現状説明、暴走行為助長重点禁止区域の指定について話し合われました。

大型空き店舗の活用計画を報告

大型空き店舗活用策定委員会による「大型空き店舗活用に係る計画策定について」の報告が12月8日、市役所で行われました。提言では「整備費用等の削減」「新たな民間施設の入居の対応」「市民ホールの設置」「駐車場の確保」「自治会などの活動拠点の設置」の5項目が重点的に述べられています。西平市長は「西崎地区の活性化や市民のために提言を生かしていきたい」と述べました。



西平市長に報告書を手渡す
上原義晴委員長(右)

地域の発展のために 車いすを寄贈



記念すべき20台目と21台目です

12月21日、大同火災海上保険株式会社から、糸満市に車いすの寄贈がありました。これは同社が障害者の日（12月9日）と創立記念日（12月10日）に合わせ、毎年12月に県内の各自治体や団体に寄贈しているものです。糸満市へは今回の2台を含め、これまでのにべ21台が贈られており、社会福祉協議会などで活用されています。

難航している最終処分場建設の打開策を打ち出そうと「南部のごみ問題を考える公開シンポジウム」

（主催：南部地区廃棄物処理施設整備推進協議会）が、11月27日に東風平町農村環境改善センターで開かれました。

シンポジウムでは基調報告に続き、翁長雄志那覇市長が「待ったなし!! ごみ問題に直面して ～対話による信頼関係の構築を～」と題して基調講演を行いました。次に、宗前清貞さん（琉球大学法文学部助教授）をコーディネーターに、知念昭則さん（島尻消防清掃組合議員）、大城秀雄さん（大里村）、大城隆さん（南風原町東新川自治会長）、山本耕平さん（環境カウンセラー）をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われました。「施設建設に向けた住民・行政はどうあるべきか」のテーマで「処分場は迷惑施設という考え方ではだめ」「もっと住民の意見も聞いていくべき」「それぞれの市町村が表に出てがんばってほしい」など様々な議論が交わされました。

行政と住民の連携を

南部のごみ問題を考える
公開シンポジウム



親子の絆・友情を深めよう

実際に海人丸に触れ
説明を受ける子どもたち



卒業を前に最後の親子の集いを有意義に過ごすため、西崎小学校6年生の親子集会が12月3日、同校と潮崎町海岸で行われました。サバニを改良した「海人丸」で糸満から愛知まで航海した荒木汰久治さんの講演会を聞いた後、カレーパーティやキャンプファイヤー、全体レクを楽しみました。

地域の安全は地域で守ろう

地域の防犯活動の活性化をはかろうと、糸満地区安心安全なまちづくり推進協議会が、12月2日、市役所で「自主防犯ボランティアへのユニフォーム贈呈式」を行いました。10月に開かれた「ちゅらさん運動資金造成コンサート」の収益金で購入した200着と懐中電灯100個が、糸満警察署管内の10団体に贈られました。



新しいユニフォームで
パトロールに出発する参加者

交通安全活動功労者表彰

市内からは初の表彰、
おめでとうございます



沖縄県交通安全推進員などを務め、多年に渡り交通安全活動に貢献した功績で、野原哲さん（西崎）が、9月21日に「交通安全功労者九州管区警察署長賞 九州交通安全協会長連盟表彰」を受けました。野原さんは奥さんや周囲の方への感謝の意を表し「今後も交通安全活動に貢献し、地域の安全を守っていききたい」と抱負を語りました。

夢をたぐさう 南のバナアツへ

JICA（国際協力機構）の青年海外協力隊として派遣される長嶺聖子さん（武富）が、11月21日に市役所を訪れ、出発の報告をしました。派遣先はオーストラリアの東に位置する島国、バナアツ共和国で、任期は2年。長嶺さんは小学校で算数を教えながら地元にあった教育方法や教材研究を行う予定で「沖縄の子どもたちへもバナアツの情報を発信していきたい」と抱負を語りました。



身体に気をつけて
がんばってきてください！

糸満警察署 少年柔道クラブ 貴緑の強さで2大会を制す！

11月19日に県立武道館で行われた「第1回真柔回旗争奪少年柔道大会」で、糸満警察署少年柔道クラブAチームがライバルの与那原若駒励心会柔道部Aを下して優勝しました。その報告が12月8日、糸満市役所で行われ、先鋒を務めた平良隼人さんは「全て一本勝ちだったのでよかった」と優勝の喜びを話していました。同クラブは、10月16日の「第8回県スポーツ・レクリエーション祭 第19回県小学生大会」でも高学年が大会5連覇を飾り、低学年も3位に入賞するなど活躍しています。



ソフトテニス当山杯 糸満中が10年連続九州へ！



ソフトテニスの「第33回当山杯中学校大会」が、11月13、19日、県総合運動公園で開かれ、糸満中学校が女子2年生、3年生の部でそれぞれ優勝しました。2年生は、1月5、6日に熊本県で開かれる「九州ジュニアインドア大会」へ派遣されます。11月30日に報告のため市役所を訪れた2年の大城なつみ主将は「九州でも優勝できるようがんばります」と決意を述べました。また3年の上原真喜主将も「最後の団体戦で優勝することができて嬉しい」と喜びを話していました。

柔道が圧倒的な強さで初優勝！！ 第57回沖縄県民体育大会

「第57回沖縄県民体育大会」が、11月19、20、26、27、の4日にわたり北部地区にて開催されました（採点競技18競技：13市郡対抗戦）。糸満市は各競技で奮闘しましたが、男女総合10位に終わりました。種目別においては、柔道が他を寄せ付けない圧倒的な強さで完全優勝。昨年に続きウエイトリフティング競技が2位、男子バスケットボール競技が2位、女子ソフトボール競技が3位と健闘しました。



2位と健闘した男子バスケットボール

少年少女駅伝 強い！ 大里が五連覇！！

◆総合成績

順位	チーム名	記録	順位	チーム名	記録
1	大里A	1' 02" 06	17	米須B	1' 09" 20
2	西崎3丁目	1' 02" 28	18	西崎ニュータウン	1' 09" 21
3	賀数	1' 02" 35	19	前端区	1' 09" 30
4	西川	1' 03" 00	20	浜川原	1' 09" 32
5	真栄里チャレンジ会A	1' 03" 21	21	真栄里チャレンジ会B	1' 10" 14
6	米須A	1' 04" 30	22	摩文仁自治会	1' 10" 17
7	西崎2丁目	1' 04" 53	23	高嶺団地	1' 10" 18
8	大里B	1' 05" 02	24	阿波根	1' 10" 45
9	西崎団地	1' 05" 15	25	真壁	1' 10" 47
10	パークタウン阿波根	1' 05" 17	26	西崎第2団地	1' 11" 03
11	与座A	1' 05" 43	27	兼城自治会	1' 11" 06
12	座波	1' 06" 19	28	武富ハイツ	1' 12" 53
13	西崎1丁目	1' 06" 53	29	南区	1' 13" 10
14	大川区	1' 06" 55	30	照屋チーム	1' 13" 15
15	武富親子会	1' 07" 57	31	新川区	1' 14" 04
16	大度	1' 08" 33		与座B	オブザーバー

◆飛躍賞 座波 25位（前回）→12位

「第22回糸満市少年少女駅伝大会」が12月11日、西崎総合運動公園で行われました。今回から大会テーマも公募され、最優秀賞には波木雅美さん（潮平小6年）の「光る汗 つながる友情 きらめく瞳」が選ばれました。大会は大里Aチームが優勝し、22回の大会のうち20回優勝（4連覇、11連覇、5連覇）という快挙を成し遂げました。結果は次のとおりです。



五連覇の大里Aと八位の大里B

◆区間賞

順位	氏名（チーム）	順位	氏名（チーム）
第1区	前門季里子（西崎3丁目）	第7区	大城真美子（賀数）
第2区	徳元 悠平（米須A）	第8区	上原 駿（西崎団地）
第3区	大城 千夏（賀数）	第9区	上原由紀子（大里A）
第4区	玉城 彪真（真栄里チャレンジ会A）	第10区	吉田大二郎（座波）
第5区	山城奈々海（大里A）	第11区	井上 美穂（大里B）
第6区	上原 翔剛（大里A）	第12区	金城 莊平（西川）

子どもたちに 夢を！ ドリーム・ベースボール

「宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール」
(主催 財団法人自治総合センター・沖縄県・糸満市)
が11月26、27日の両日、西崎総合体育館と西崎球場
で行われました。

金田正一さんをはじめ日本プロ野球名球会と全国
野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)の元プロ選
手24名が来市し、指導者クリニック、少年少女ふれ
あい野球教室、講演会などで市内の指導者や少年野
球チーム、野球ファンと交流しました。名球会とO
Bクラブの混合チーム対糸満市選抜チームのドリー
ムゲームは、0対2で惜しくも糸満市選抜が完封負け。
糸満市選抜で唯一ヒットを打ち、大会MVPに輝いた



前原博之さん(元中日)から
守備のアドバイス

新垣哲也さんは「一瞬、プロ
野球選手になった
気分だった。この
試合で子どもたち
が夢を持てて野球
をしてくれたら」と
話していました。

兼城パイレーツが優勝 スポーツ少年団 低学年野球大会

12月10、11日の両日、西崎球場および西崎小
学校において、「糸満市スポーツ少年団低学年(小
学校4年以下)野球大会」が開催されました。決
勝戦で兼城パイレーツが糸満ゴールドを10対2で
破り、糸満市学童軟式野球大会の春季、冬季大会
に続く優勝を果たしました。



初めてのメダルに大喜び 「次も優勝するぞ！」

初心者ビリヤード教室 参加者募集

- ◆日 時 2月10日(金)・14日(火)・17日(金)
21日(火)・24日(金) 19時半~21時半
- ◆場 所 マスターズボウル糸満(シーポート1F)
- ◆対象者 中学生以上の一般男女25名
- ◆参加料 505円(障害保険代)
- ◆申込締切 1月31日(火)まで
- ▼申し込み・問い合わせ 糸満市教育委員会 社会体育課
☎840-8164 FAX 840-8161

糸満市体育協会
創立40周年記念事業

スポーツゲームズin糸満

子どもたちに様々なスポーツの楽しさを知って
もらおうと「スポーツゲームズin糸満」(主催 市体
育協会・NPO法人MIPスポーツプロジェクト)が、
12月17日、西崎総合運動公園で開かれました。

内容は3種類のスポーツを体験する「チャレンジ
スポーツラリー」、楽しく身体を動かしながらバラ
ンスやリズム感を高める「親子コーディネーション」、
技術向上のための「スポーツクリニック」、中高齢
者向けの「元気に歩き続けるための筋力トレーニング」、
からだ作りに役立つ「子どものスポーツ栄養学セミ
ナー」。陸上競技、バスケットボール、バレーボール、
ソフトテニス、野球、フラッグフット、サッカーな
どの一流選手や指導者の皆さんが講師を務め、小学
生から50歳以上まで幅広い年代が参加しました。

テニスつて
結構楽しいかも！



リズムに合わせて
親子コーディネーション

12/11 第2回糸満ワインカップパークゴルフ大会

(糸満観光農園)

◆個人の部

優 勝	金城 直子	スコア47
2 位	津嘉山善信	49
3 位	知念 盛達	51
	上原 清昭	51

◆ファミリーの部

優 勝	金城チーム	合計スコア294
	(神谷一美 金城健英 金城ちひろ 神谷みか)	
2 位	玉那覇チーム	合計スコア311
	(當山親子 金城親子)	
3 位	又吉チーム	合計スコア326
	(国吉浩文 又吉大吾 又吉愛理 浜辺ちひろ)	



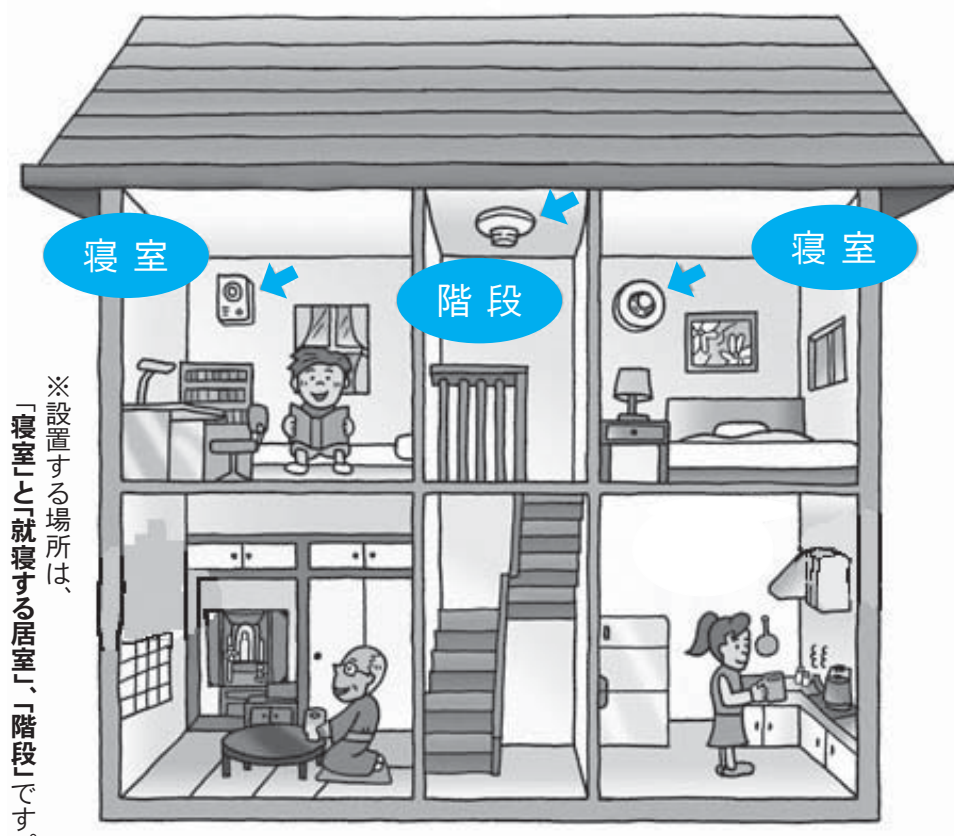
消防法および糸満市火災予防条例により すべての火災警報器等の設置が義務付けられます

設置および維持に関する基準は、糸満市火災予防条例で定められています。

○新築住宅は、平成18年6月1日から施行されます。

○既存住宅は、糸満市火災予防条例により平成23年5月31日までに設置してください。

設置場所をチェック!!



購入する際は、下記のマークを目安にしてください

日本消防検定協会 鑑定マーク		UL 規格 適合マーク	
	日本消防検定協会の鑑定に適合したもの		米国が開発した製品安全性評価規格のうち、2001年10月21日に改訂した規格以降、適合し、認証を取得したもの

悪質な訪問販売にご注意

住宅用火災警報器等の設置義務化を契機として、不適正な価格・無理強い販売などを行う業者にご注意ください。（火災警報器は、クーリングオフの対象です。）

▼問い合わせ 消防本部 総務課予防係 ☎992-3661

平成16年度

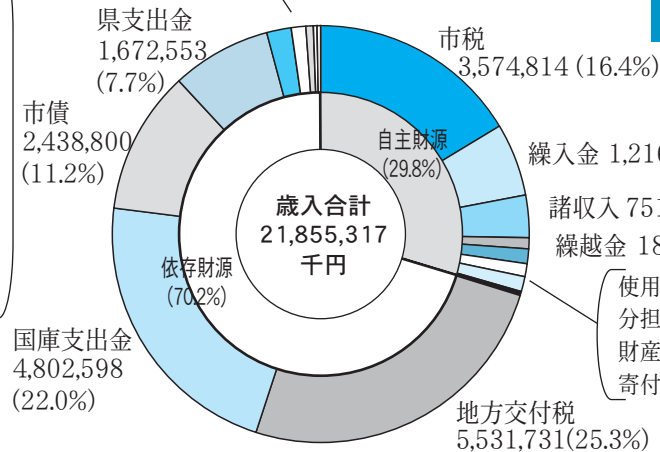
糸満市の決算状況

平成16年度(平成16年4月～平成17年3月31日)の決算がまとまりました。皆さんの納めた税金や国や県からのお金がどれくらい入り、どれだけ使われたのかを公表します。

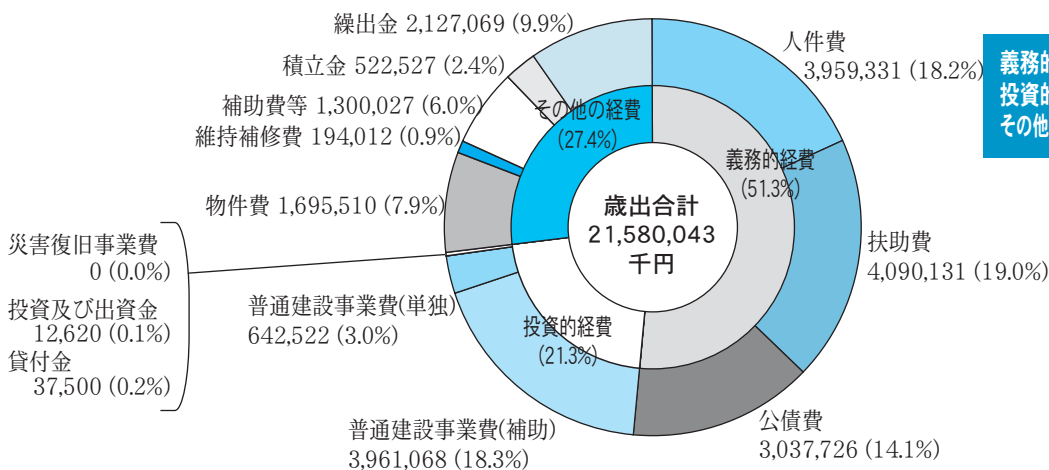
平成16年度 一般会計決算図表

(単位：千円)

地方消費税交付金	420,221 (1.9%)
地方譲与税	257,431 (1.2%)
地方特例交付金	108,010 (0.5%)
ゴルフ場利用税交付金	51,356 (0.2%)
利子割交付金	12,953 (0.1%)
自動車取得税交付金	49,568 (0.2%)
交通安全対策特別交付金	7,739 (0.0%)
国有提供施設等所在市町村助成交付金	5,793 (0.0%)
配当割交付金	1,818 (0.0%)
株式等譲渡所得割交付金	396 (0.0%)



自主財源	6,494,350 (29.7%)
依存財源	15,360,967 (70.3%)



義務的経費	11,087,188 (51.3%)
投資的経費	4,603,590 (21.3%)
その他の経費	5,889,265 (27.4%)

平成16年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分		歳入	歳出	差額
一般会計		21,855,317	21,580,043	275,274
特別会計	国民健康保険事業	6,017,555	6,244,168	△ 226,613
	公共下水道事業	1,650,238	1,627,029	23,209
	老人保険事業	4,069,574	4,158,434	△ 88,860
	介護保険事業	3,009,397	2,967,277	42,120
	人材育成事業	39,983	13,607	26,376
	計	14,786,747	15,010,515	△ 223,768
水道事業	収益の収支	1,467,622	1,381,936	85,686
	資本の収支	228,903	609,122	△ 380,219
	計	1,696,525	1,991,058	△ 294,533
合 計		38,338,589	38,581,616	△ 243,027

市民1人あたり使われている金額

下の表は、平成16年度一般会計決算状況を元にして、市民が1人あたり、どれくらい事業にお金を使っているのかを計算しました。糸満市では1人あたり、62,597円の市税で377,882円の事業を行っています。

※平成16年3月現在の人口(57,108人)で計算した場合

(単位：円)

民生費	111,289	農林水産業費	26,610
土木費	66,960	消防費	6,855
公債費	53,193	議会費	4,621
総務費	42,566	商工費	3,143
教育費	33,577	労働費	323
衛生費	28,745	災害復旧費	0
合計		377,882	

市民健診、人間ドック 健診結果相談会

- ◆実施日、受付時間
1月19日(木) 13時30分～15時
- ◆場所 市役所3-C会議室
- ◆持参するもの 健診結果
- ▼問い合わせ
市民健診については
保健予防課 ☎ 840-8126
人間ドックについては
国保年金課 ☎ 840-8127

※必ず事前に電話で申し込みを
してください。

「あなたの食事を 振り返ってみよう」教室

毎日の食事、あなたはどのように
食べていますか？自分の食事を振り
返ってみませんか？！

- ◆日時
2月8日、15日、22日 水曜日
14時～16時頃(全3回コース)
※調理実習のみ 10時～14時頃
- ◆場所 市役所3-B会議室
※調理実習のみ 農村環境改善
センター
- ◆対象者 65歳以下の男女
- ◆定員 20人
*定員になり次第締め切ります。
お早めどうぞ！！
- ◆受付期間 1月16日(月)～23日(月)
- ▼問い合わせ・申し込み
保健予防課 ☎ 840-8126

予防接種

- ◎風しん
- ◆実施日、受付時間
1月27日(金) 13時15分～14時15分
2月19日(日) 9時～10時15分
※平日と日曜日では、受付時間が
変わりますのでご注意ください。
- ◆対象者 1歳～7歳6ヶ月未満
- ◆場所 農村環境改善センター
- ◆接種料金 無料
- ◆持参する物 予診票、母子手帳
- ▼問い合わせ
保健予防課 ☎ 840-8126

麻疹・風しん予防接種が、法改
正により平成18年度から対象年齢・
接種方法等が変わり、定期外接種と
なります。それに伴い、対象年齢外
になると全額自己負担による接種と
なる場合があります。未接種児は、
ぜひ今年度中に接種してください。
※指定病院で接種できます。お問い
合せください

市民健康講演会

本市では、過去5年間で死亡
した人の第1位が「肺がん」という現
状です。これまでの検査に比べ4、5
倍の比率で肺がんを早期発見できる
ヘリカルCT検査の説明を含めた講
演会を開催いたします。

- ◆講師 沖縄県総合保健協会 技師
- ◆日時 1月26日(木) 14時～16時
- ◆場所 市役所3-C会議室
- ▼問い合わせ
保健予防課 ☎ 840-8126

糸満市の元気な子



かわいい姉妹です♪

ひらた せりな りんな
平田 芹奈(11ヵ月) 鈴奈(2才)



太陽のように強くたくましく育て!!

おしろ こうせい
大城 滉生(8ヵ月)



超お～仲良し♪

きんじょう かいや れいや
金城 魁弥(6才) 鈴奈(2才)

「元気な子」写真募集!

★年齢は10歳ぐらまで

住所、氏名(ふりがな)、生年月日、
電話番号、「ひとこと」を忘れずに記
入して糸満市役所「元気な子」・広報
担当のところまで送ってください。

〒901-0392 糸満市潮崎町1-1
「元気な子」・広報担当まで

急ぐほど 正しく はっきり 110番 1月10日は「110番の日」

最近、携帯電話等が急増し、一日平均500件あ
まりの通報があります。

しかし、通報の中には「困りごと相談」や「各種相談」
「いたずら電話」が全体の35%を占めており、緊急の
110番通報に支障をきたしています。

110番通報は、事件・事故が発生し、緊急を要す
る場合に利用しましょう。

※各種相談や紹介等は、「#9110」または「☎ 995-0110」



道路工事へのご協力

市では、川尻橋付近（国道331号線へ市道川尻親田原線を取り付けるため）にて交差点改良工事を行います。工事期間は平成18年1月から3月を予定しており、その間は片側交互通行や車線減少等の交通規制が生じます。

工事期間中は何かとご迷惑をかけることが多いですが、通学路の確保および良好な道路環境の確保を目的とする道路事業の意義をご理解いただき、ご協力をお願いします。

▼道路(街路)事業についての問い合わせ
都市計画課街路係 ☎840-8141



建設工事等入札参加資格申請の(追加)受付

平成17・18年度に糸満市および市教育委員会、市土地開発公社が発注する建設工事および測量コンサルタント業務等の入札に参加希望する者は次のとおり提出してください。

- ◆要領の配布
1月5日(木)～2月28日(火)
- ◆受付期間
2月1日(水)～2月28日(火)
- ◆受付場所
契約管財課（市役所5階北側）
- ▼問い合わせ
契約管財課 ☎840-8121

☆要領はインターネットでも公開しています。
<http://www.city.itoman.okinawa.jp/>

確定申告について

那覇税務署の

「確定申告会場」が変わります！

那覇税務署の「確定申告会場」が、「浦添市産業振興センター・結の街」（国立劇場おきなわ向い）に変わります。
◆期間 2月1日(水)～3月31日(金)
※那覇税務署内には、「確定申告会場」を設置しておりませんのでご注意ください。

「確定申告説明会」のご案内

次の日時および会場において、平成17年分所得税・消費税の確定申告説明会を行いますので、ぜひご利用ください。

- ①農村環境改善センター
日時 2月2日(木)・3日(金)
9時30分～16時
- ②豊見城市役所6階多目的ホール
日時 2月6日(月)・7日(火)
9時30分～16時

▼問い合わせ
那覇税務署個人課税部門
☎867-3101
国税庁HP
<http://www.nta.go.jp>

平成18年度償却資産の申告について

事業(法人・個人)の用に供することができる資産で、法人税または所得税の減価償却額または減価償却費の算出基礎となる減価償却資産を計上している方は、地方税法第383条の規定により、市役所へ償却資産の申告をする必要があります。

◆申告書類

- ・償却資産申告書
- ・前年中に取得した資産は、増加資産用種類別明細書
- ・前年中に減少した資産は、減少資産用種類別明細書

※増減のない場合でも必ず申告してください。

◆提出期限 1月31日(火)

▼問い合わせ

税務課資産税係 ☎840-8128

市民ボランティア清掃

- ◆日時 1月14日(土) 9時～11時
- ◆集合場所 し尿処理場西側護岸
- ▼問い合わせ
水道部 ☎995-2458

教育委員会指名競争入札参加資格審査の(追加)受付

糸満市教育委員会が発注する平成18年度の委託業務等について、入札参加資格審査追加申請書の受付を下記のとおりに行います。

- ◆業務の種類
 - 汚水処理施設の維持管理に関する業務（小学校・中学校・幼稚園）
 - 消防用設備等定期点検業務（小学校・中学校・幼稚園）
 - 貯水槽清掃および法定検査業務（小学校・中学校・幼稚園）
 - 建築物及び建築設備定期調査報告書作成業務（小学校・中学校）
 - 耐力度調査業務（小学校・中学校・幼稚園）
 - 物品購入
- ◆申請期間 2月1日(水)～28日(火)
- ◆受付時間 8時30分～12時、13時～17時（土・日・祝日は除く）
- ◆受付場所 教育委員会総務課
- ◆申請書の配布
期間 1月16日(月)～2月28日(火) ※配布時間は受付時間と同じ
場所 教育委員会総務課
- ▼問い合わせ 教育委員会総務課 ☎840-8160

※申請にあたっては、申請書作成者本人が持参してください。

※すでに平成17～18年度の資格審査に合格した方については、今回の手続きの必要はありませんが、業務に係る免許および登録等の有効期限が失効した場合については、随時更新の手続きを行う必要があります。

親子草木染め体験教室

- ◆日時 1月15日(日) 13時(約3時間)
- ◆場所 糸満観光農園
- ◆対象 30人(草木染めに関心のある親子および個人)
- ◆参加費 無料
- ◆材料費 ハンカチ、財布は無料、スカーフ、その他は有料
- ▼申し込み・問い合わせ
いとまんカーリー染め工房 ☎995-0437
政策推進課 ☎840-8182(伊敷)

ハーブ畑で農業体験

- ◆日時 1月15日(日) 11時(約3時間)
- ◆場所 岸本ファーム・糸満観光農園
- ◆対象 20人(ハーブに関心のある方)
- ◆参加費 材料費300円
- ▼申し込み・問い合わせ
岸本ファーム ☎090-5388-2932
政策推進課 ☎840-8182(伊敷)

人事異動

() 内は旧所属

12月31日付

【退職】

- ▼大城良善(経済観光部農村整備課副参事)
- ▼慶留間功栄(水道部総務課主査)

糸満市臨時職員募集

- ◆職種 ①保育士補助員
②事務補助員
- ◆資格 ①のみ保育士有資格
- ◆募集人員 ①、②ともに若干名
- ◆待遇 ①日額6,000円、②日額5,300円
社会保険、雇用保険、賞与、有給休暇制度有
- ◆採用 平成18年4月頃
- ◆申込方法
市役所人事課に履歴書を提出
- ▼問い合わせ
人事課 ☎840-8117(翁長)

スポーツロッジ糸満 調理師募集

- ◆職種 調理師および見習い
- ◆時間 9時～21時(休憩3時間)
- ◆給与 月額110,000円～170,000円
- ◆資格 男性18～30歳位まで
(経験、能力優遇)
- ◆待遇 社会保険、車通勤可、
制服支給、賞与(2ヵ月以上)
- ◆休日 週休2日制
- ◆応募方法
電話連絡の上、履歴書(写真付)を持参
- ▼問い合わせ
スポーツロッジ糸満 ☎995-1126

地上デジタル放送が 始まります

沖縄県では平成18年4月からデジタル放送を開始するため、1月より試験電波を発射します。

試験電波の期間は、一部の地域で受信設備の構成により、テレビの画面に、まれにザラザラになる症状が現れる場合があります。

お気づきの際は、下記の受信対策センターにお問い合わせください。

電話で相談のあったご家庭に訪問する際には、必ず事前にご連絡を差し上げます。また、訪問する際には腕章と証明カードを携帯していますので必ずご確認ください。

▼問い合わせ

福岡・沖縄地域受信対策センター
フリーダイヤル ☎0120-020-161

家庭ごみ収集運搬 委託業者募集

一般家庭ごみ収集運搬委託業者を1名募集します。申込期間は、下記のとおりです。詳しくは生活環境課までお問い合わせください。

◆申込期間 1月23日(月)～2月3日(金)

▼問い合わせ

生活環境課 ☎840-8124

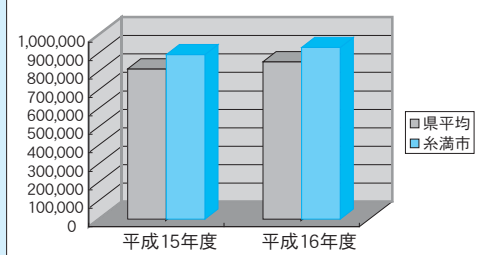
老人医療だより28 ひとりあたりの医療費

糸満市における老人保健法の医療受給者の平成16年度一人当り医療費は931,228円であり、前年度の892,015円からさらに39,213円も増加しています。また、県平均額の854,066円から77,162円も多く、相変わらず老人医療に多額の費用がかかっています。これは、70歳以上の高齢者の疾病が増えていることを示しています。

老人医療においては費用の1割かそれ以下の金額が自己負担額となっていますが、実際にはその10倍程の費用がかかっていて、それは私達の税金からまかなわれているのです。今後こうした医療費の増加は保険料の引き上げや、医療費の負担割合の増加をもたらします。一人一人がこの事を忘れず、医療費の節約に努めましょう。

その為には、市が実施する健康診断等を積極的に受け、病気の早期発見と早めの治療をすることや、日頃から健康に関心を持ち、適切な食事、運動や趣味などを習慣化していつまでも元気で過せるよう努めましょう。それは自分の為でもあるのです。

老人医療費一人あたり(単位:円)



お知らせ広場

ぬくぬくの子育て講座

子どもの安全・応急方について

1月11日(水)、市消防士

郷土のお菓子作りを楽しもう!!

1月18日(水)、大城牧子さん

子ども発達と家庭教育の大切さについて

1月25日(水)、宮里留美子さん

親子で楽しくリトミック

2月1日(水)、上田彰子さん

おもちゃ作り

2月8日(水)、ぬくぬく職員

※開始時間は10時です。

※講座の電話予約は5日前からです。

▼申し込み・問い合わせ

子育て支援センターぬくぬく ☎ 852-3633

子育てひろば (10時～12時)

米須公民館

1月17日、2月7日 (火曜日)

潮平県営高層住宅

1月10日、19日、24日、

2月2日、7日 (火曜日、木曜日)

大里公民館

1月12日、26日、2月9日 (木曜日)

第9回児童センターまつり

◆日時 1月21日(土) 10時～15時

◆場所 西崎太陽児童センター

<舞台発表>

オペレッタ、ジャグリングなど

<遊びコーナー>

乳幼児向け遊び、おもしろ科学遊び、
レクサークルによる新しい遊びなど

<飲食・バザー>

豚汁、軽食、その他バザー

☆絵画コンテスト用 絵を募集☆

まつり当日に行うコンテストの絵
を1月4日(水)～16日(月)まで募集中

◎テーマ

幼稚園生以下・・・「自由」!

小・中・高生・・・「僕・私の夢」

※用紙はセンターで準備しています。

笑顔いっぱい! 遊び名人いっぱい!

児童センターまつり!

みんな～遊びにき・て・ね!!

▼問い合わせ

太陽児童センター ☎ 992-4228

第35回世界児童画展 (巡回展)

400点の世界中の子どもたちの絵を
通じて、心のふれあいを深め、美し
い平和な世界がくるよう願っています。

◎3才～15才までの

子どもたちの作品

海外(50カ国)300点

国内(沖縄県含む)100点

◆日時

1月23日(月)～29日(日)

10時～18時

※初日は15～18時

※最終日は10時～16時

◆会場 中央公民館 2階大ホール

◆入場料 無料

▼問い合わせ

中央公民館 ☎ 992-2869

放送開始80年記念

全国一周NHKラジオカー

ハチマル

「80ちゃん号」糸満市に参上!

1月14日(金) 12時30分～55分

公設市場前にて

ラジオ第一放送から生中継です

中央図書館

開館時間: 火～金 10時～19時

土・日 10時～17時

みなよむ
☎ 995-3746

●今月のお休み

休館日・・・1月10日(火)、2月6日(月)

特別資料整理日・・・1月20日(金)～2月3日(金)

●今月の行事

おはなし会・・・1月14日(土) 15時 おはなしのへや

上映会・・・1月15日(日) 14時 2階集会室

アニメ「沖縄昔ばなし」

●図書館からのお知らせ

★図書館では年1回の特別整理を行います。
そのため1月20日(金)～2月3日(金)まで休館となります。

★1月の資料整理日である13日(金)は開館します。

★東風平町民への貸出は、12月27日(火)までです。
新規カードの作成、予約の受付は12月から行な
っていません。

★合併後の八重瀬町民への貸出は調整中です。

図書館から借りたものは、期限内に返しましょう!

移動図書館 くろしお号 巡回日程表

A) 1/18 (水曜日)	E) 1/14 (土曜日)
高嶺小学校 13:30 (40分)	賀数公民館 10:20 (30分)
がじゅまる児童センター 16:10 (30分)	おおたばる(賀数宿舎) 11:00 (30分)
与座区民館 17:00 (30分)	航空局糸満宿舎 14:00 (30分)
	願寿館 14:40 (30分)
B) 2/4 (土曜日)	西崎1丁目集会所 15:20 (30分)
兼城ハイツ集会所 14:00 (30分)	
潮平北側広場 14:40 (30分)	F) 2/5 (日曜日)
阿波根宿舎 15:20 (30分)	西崎さくら公園 10:40 (40分)
	パークタウン自治会館 14:00 (30分)
C) 1/19 (木曜日)	雇用促進住宅 14:40 (30分)
米須小学校 13:35 (40分)	潮平高層住宅 15:20 (30分)
D) 1/11、2/8 (水曜日)	G) 1/12、2/9 (木曜日)
喜屋武小学校 13:20 (40分)	真壁小学校 13:30 (40分)
さつきの城自治会館 16:10 (30分)	
米須団地 17:00 (30分)	H) 1/17、2/7 (火曜日)
	兼城小学校 13:30 (40分)

悪天候時は、運休になります。

()内は滞在時間です。

平成18年1月1日より暴走行為および暴走行為を あおる行為等に罰則が適用されます

糸満市暴走行為および暴走行為をあおる行為の防止に関する条例に基づく、糸満市暴走行為等防止協議会が発足しました。同協議会において、暴走行為助長重点禁止区域が指定され罰則規定も適用されることになりました。違反者は罰金に処されます。

罰金の対象は次のとおりです。

○糸満市内の公共の場所において、正当な理由がないのに、著しく他人に迷惑をおよぼし、または著しく他人に危険もしくは不安を覚えさせる方法で、自動車やオートバイ等を急発進、急転回、速度を急激に増加させる行為や空ぶかし行為等

○糸満市内の暴走行為助長重点禁止区域において暴走行為をしているものに対して声援、拍手、指笛、手振り、もしくは身振りをし、または、旗、鉄パイプ類を振るあおり行為等

▼問い合わせ 市民生活課 ☎ 840-8123

糸満市の人口 (平成17年11月30日現在)

世帯数 20,040 (+14)
男 28,876 (+5)
女 28,562 (-2)
総人口 57,438 (+3)
外国人登録者 168 (+1)

総面積 46.63km²
(平成15年10月1日現在)

納税でみんなの豊かなまちづくり

《1月の納税》

今月の納期は下記のとおりです。

- ①市県民税 第4期
- ②国民健康保険税 第5期
- ③介護保険料 第5期

■滞納処分の状況

区 分	10月末 差押件数	11月分 差押件数	解除件数	継続中
不 動 産	245	3	1	247
参加差押	101	0	0	101
預 金	1	1	1	1
給 与 等	1	0	1	0
電話加入	58	0	0	58
合 計	406	4	3	407



▼相談・問い合わせ 収納対策室 収納係 ☎ 840-8129

ラジオ広報

糸満市役所だより

月～金 ① 7時40分～7時50分
② 12時50分～13時
③ 17時50分～18時
土・日 ① 12時50分～13時

FMたまんラジオ回覧版 ～糸満とれたて情報満載～

◎毎週月～金曜日 12時～13時

F M た ま ん 76.3 MHz

寄付

ご芳志ありがとうございます

○社会福祉協議会へ

- ▽国吉 眞光さん(糸満)より、故 国吉 ルミ子様の香典返し
- ▽奥濱 眞一郎さん(兼城)より、故 奥濱 トミ様の香典返し
- ▽大屋 利秀さん(米須)より、故 大屋 ヨシ様の香典返し
- ▽新垣 克子さん(真壁)より、故 新垣 元一様の香典返し

○人材育成基金へ

- ▽国吉 眞光さん(糸満)より、故 国吉 ルミ子様の香典返し
- ▽糸満高等学校より、同校文化祭収益金
- ▽新垣 克子さん(真壁)さんより、故 新垣 元一様の香典返し

広報いとまん 1月号

発行日 平成18年1月5日 485号
発行 糸満市役所
編集 総務部 秘書広報・男女参画課
〒901-0392 糸満市潮崎町1丁目1番地
代表TEL (098) 840-8111
代表FAX (098) 840-8112
<http://www.city.itoman.okinawa.jp>

100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

▽新年明けましておめでとうございます。今年は糸満市になって35年です。35歳になる糸満市を今年もよろしく願います。

今月号からお知らせコーナーを改装してみました。都合上、旧暦を入れることができませんでしたが、旧暦行事はきちんとサポートしていきますよ。(しげあ)

▽明けましておめでとうございます。今年は戌年、犬は昔から安産の守り神とされていて、妊娠5、6カ月頃に赤ちゃんを守るために巻く縁起がよいとわ。戌の日に巻く縁起がよいとわ。私の周りでも新年早々知人や友人の出産ラッシュが続きます。世のお母さんたちの安産を願いつつ、今年も「広報いとまん」をよろしく願います。(あやこ)

編集後記

10日（火）
 11日（水）
 12日（木）
 13日（金）
 14日（土）
 15日（日）
 16日（月）
 17日（火）
 18日（水）
 19日（木）
 20日（金） 中央図書館休館 ～2月3日まで
 21日（土） 児童センターまつり（太陽児童センター）10時
 22日（日）
 23日（月） 第35回世界児童絵画展（中央公民館）～29日
 24日（火）
 25日（水）
 26日（木） 市民健康講演会（市役所3階）14時
 27日（金）
 28日（土）
 29日（日） 旧正月
 30日（月）
 31日（火）

2 月

1 日（水）
 2 日（木）
 3 日（金）
 4 日（土）
 5 日（日）
 6 日（月）
 7 日（火）
 8 日（水）
 9 日（木）

●自治連絡員会議（3-c 会議室）

1月20日（金）、2月6日（月） 14時

●子ども放送局（中央公民館）

毎週土曜日 11時～12時

図書館のお休みは21ページにあります

各種相談コーナー

あなたのプライバシーや秘密は必ず守ります。
 一人で悩まずささいなことでもご相談を！

行政相談 ～役所の仕事に関する苦情や意見・要望等～

◎毎月第2火曜日 14時～16時

◎市役所 2階相談室

▼金城栄子 ☎994-5978 ▼酒屋祐定 ☎997-3117

市民相談 ～市民生活に関する相談に応じます～

◎月・火・水・金 8時30分～17時 ※祝日は休み

▼市民生活課 ☎840-8123

無料法律相談 ～弁護士による法律相談～

◎毎月第2、4水曜日 13時30分～15時30分

◎相談日の前日の9時から先着5名

▼市民生活課（相談室）☎840-8123

健康相談 ～健康についての悩み事はこちらまで～

◎毎週水曜日 9時30分～12時

▼保健予防課 ☎840-8126

人権相談 ～親子・夫婦・扶養・相続・いじめ等～

人権擁護委員

▼上原秀昭 ☎992-6057 ▼大城静江 ☎994-7958

▼上原幸佳 ☎994-2506 ▼金城則子 ☎994-3333

▼上原弘安 ☎994-2402 ▼大城美根子 ☎994-7076

女性相談所

◎平日 8時30分～17時30分 / 土・日・祝祭日 10時～17時

▼沖縄女性相談所 ☎854-1172

ふれあい福祉相談

◎毎週月曜日～金曜日 13時～17時

▼社会福祉センター（ふれあい福祉相談室）

☎994-0563（内15）／☎852-3000（専用）

障害者相談 ～県から委託を受けた方々です～

▼身体障害 桜木かほる ☎992-2723（自宅）

☎995-0789（職場）

豊平 朝清 ☎992-4741

▼知的障害 山城 和枝 ☎994-4346

身体障害者相談 ～在宅生活全般に関する相談や支援～

◎毎週月曜日～金曜日 8時30分～17時

◎社会福祉センター（相談室）

▼市障害者支援センター陽だまり ☎840-8468

高齢者相談 ～在宅介護等に関して総合的に応じます～

◎毎週月曜日～金曜日 8時30分～17時

◎社会福祉センター（研修室）

▼市社協基幹在宅介護支援センター ☎852-3091

子育て相談

◎毎週火曜日～土曜日 10時～17時

▼市青少年センター（がじゅまる児童センター内）

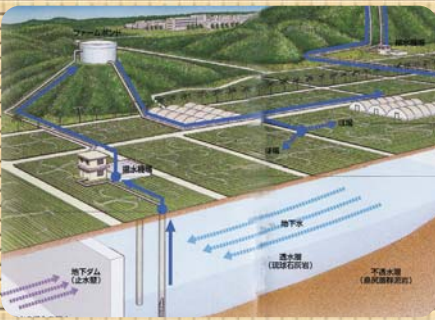
☎995-1952（gajimaru@southernx.ne.jp）

糸満市の火災・救急（平成17年11月末日現在）

災害種別	件数	前年比
11月の火災	1件（13件）	0
11月の救急	168件（1847件）	87

（ ）内は平成17年累計

重大ニュース2005



地下ダムが完成

糸満小学校校舎全面改築



武富婦人会
美化コンクール
県知事賞受賞



観光農園
グランドオープン
(とぅばらーま大会など
多くのイベントを開催)



終戦60年
多くの
平和事業を展開



大型ショッピングセンターが糸満市に進出

このほかにも

- ・中学生が全国大会で大活躍
(海の絵画コンクール、全日本川柳ジュニアなど)
- ・小中学校に県内で初めて補助教諭を配置
- ・平成17年4月から摩文仁へ給水開始
- ・ドリーム・ベースボール開催(今月の表紙)

